

運転免許証の自主返納制度 の取り組みについて

小泉 輝忠 議員

質問 私は、平成22年9月7日開会の第3回定例会において、高齢化社会における安全運転、自主返納制度

であり、高齢者にとっては、杖と同じ状態であることが主たる要因です。

について質問し、当時の総務部長から、地域の実情等を勘案しながら検討していきたいと返答され、村長からも、高齢者が返納を決めたとき、自治体としてどう

稲敷警察署管内において、平成23年中の人身事故発生件数は207件、うち65歳以上のものが64件、率になると30・9%と若者世代を上回っております。

対応するか等を踏まえ検討していきたい旨の返答でした。その後の検討経過について、確認の意味を含めて質問いたします。

これから高齢化が進み、高齢者の交通事故も増加することが懸念されます。高齢者の交通事故を1件でも少なくすることは、今後当然の課題だと考えており、

答弁（経済建設部長） 現在のところ、運転免許証の自主返納の取り組み制度というものは、進んでいない状況です。運転免許証が身分証明として利用されたり、交通網の未発達な本村では、車は生活に必要な交通手段

村としましては、運転免許証の自主返納の呼びかけPRや運転経歴証明書制度の周知、運転免許証の返納を決めた方へ本人確認のかわりとなる住民基本台帳の無料交付、デマンドタクシーの利用券、タクシー利用券の交付等が考えられますが、

実施するとした場合にあっては、稲敷警察署管内で不公平が生じぬよう、協議検討をし、調整をしてまいりたいと思います。

質問 4月29日の茨城新聞に、運転免許証自主返納は1000人を超え、自治体支援が後押しをしていると掲載されていました。例えば龍ヶ崎市でも自主返納制

美浦村もできれば、デマンドを使っていたらいい。その際、登録料として入金2000円をいただくようになります。10回のチケットを1枚余計につけて11枚で3000円、それで販売しております。村内どこへ行っても300円、それを3枚つけると1万1000円ぐらいになるかと思

度が始まりました。私も、龍ヶ崎警察署に自ら行って確認してきました。また、土浦市でも優遇制度を行うとの資料を収集いたしました。

今こそこの時期と考えますが、村長の考えをお聞かせください。

答弁（村長） 運転免許証の自主返納ということ、

また、運転免許証がなくても、身分を証明するようなもの、村の中で考えていきたいと思っております。今の返納に対しての支援制度については、私の言ったようなことを基本的に考えて、来年度の実施に向けて、できれば取り組んでいきたいと思っております。

県内7市町、つくば市を初め龍ヶ崎市まで、町では城里町が取り組みをしています。県内7市町では、返納をした時の恩典を与えているということ、支援する部分としては、6,700円から1万2000円

思っています。